

## 2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 23 日作成)

小委員会名	中層木質構造小委員会	主 査 名：荒木康弘 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：五十田 博 (主 査 名：腰原幹雄)
設 置 期 間	2023 年 4 月 ～ 2027 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>近年、地球環境問題への取り組みとして木材の積極的な利用が期待されている。我が国でも中・大規模建築物の木造化の促進のために 2 時間耐火構造や 90 分耐火構造の告示化の動きがあるが、4 階建以上の中層木造建築物のルート 2 に対応できる構造設計に資する技術資料が不足しているのが現状である。そこで本小委員会では中層軸組工法の構造設計に資する設計技術を検討する事を目的とする。</p> <p>初年度：倍率換算で 15 倍超の耐力壁の設計方法や水平抵抗要素をあらわしにする耐震要素の設計方法の現状の設計技術や問題点について整理する。小委員会を 6 回程度開催する。</p> <p>2 年度：初年度に検討した耐震要素の構造方法について汎用性のある設計技術の構築を目指す。特に、耐力壁の設計技術について議論する。小委員会を 6 回程度開催する。</p> <p>3 年度：初年度に検討した耐震要素の構造方法について汎用性のある設計技術の構築を目指す。特に、あらわしにする水平抵抗要素等について議論する。小委員会を 6 回程度開催する。</p> <p>4 年度：成果を取りまとめる。小委員会を 6 回程度開催する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：荒木康弘 (国土技術政策総合研究所) 幹事：秋山信彦 (国土技術政策総合研究所) 委員：稲山正弘 (東京大学)、川原重明 (木質環境建築)、原田浩司 (木構造振興)、朝川剛 (東京電機大学)、望月英二 (竹中工務店)、小谷竜城 (NCN)、岡本滋史 (大阪公立大学)、福山弘 (HA)、蒲池健 (KMC)、田尾玄秀 (樫建築事務所)、角野大介 (日建設計)、宮田雄二郎 (法政大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2023 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 倍率換算で 15 倍超の耐力壁の事例収集、試験法・性能評価方法、耐力壁構造の設計規準について検討した。 2. 水平抵抗要素を表わしにする耐震要素の設計法の現状について検討した。 3. JIS-A3301 (木造校舎の構造設計標準) 改定に向けた検討を行った。 4. 木造建築物の新たな耐震設計に関する議論を行った。 5. 小委員会を 7 回程度開催した (3 月予定含む)。
委員会活動の問題点・課題	2 年目の「初年度に検討した耐震要素の構造方法について汎用性のある設計技術の構築」に向け、参照できる実験データや既往研究について継続して情報収集する必要がある。